

(2) ACAG(全市全郡)コンテスト(2022)

de J A 1 R I Z

今回はめったにエントリーすることがない2400MHz帯をやってみようをテーマとしました。何かしら、お題目を立てないと動き出せないお年頃なのです。hihi

なんでそんなBANDを?でしょう。ここ数年、このバンドの参加者が極端に少ないので、ノンビリ・ムードの自分に向いているのではないか、そう思っただけの話なのではあります。

さて、戦いの開始21:00…。

FMモードならだれか聞こえるだろう、だが、バンドは静まり返っている。聞こえてくるのはノイズばかり…。ANTは下手にビームが効きすぎるのもよくないとGP-24(コメット・22段コーリニア15.4dBi)を使う。シバラクは、そのうち誰かが電波を出してくるだろうと「忍」の一字。バンドを探るも入感なし。そうだ、CWモードでFMを聴けば信号の有る無しが分かる!…。CWモードでバンドを探る。呼出周波数+20kHzあたりで何かの信号を確認する。

FMモードにしてしばらく聞いていると微かに信号が浮いてきて「JA1ZGP調布???'と判別できた。1200で出ていた電通大(調布市)だ。スタンバイの間隔を捉えて数回もコールするが全くこちらの信号がとれていない様子であった。

同様に、呼出周波数+40kHz、+60kHz辺りもCWモードでは信号が確認できるがFMでの復調はできない信号。手動スイープでしばらくワッチしていると呼出周波数で出てきた局はしっかり聞こえた、この局は檜原村(奥多摩周遊道路?)から出ているという。応答するが返事なし。

このBANDでは空中線力1W級がほとんど、MYリグでは実質0.5W程度か。又、相手局では相応の感度が得られているのか?の疑問もある。

自分のリグの受信はマーカ発信器でテストしたが、送信はしっかりした電波が出ているかは疑問が少しある。もう一式設備を用意して「鳴き合わせ」が必要ではある。なにせ相手局がめったに居ないので「チョット変調レポート下さい」などということもできないバンドでもあり困ったものです。

以上の様に悪戦苦闘の結果は、メインとした2400は完全坊主、と相成りました。

次回このBANDにエントリーの際は、①事前に「鳴き合わせ」等によりリグが信頼できる状態にしておく。②ANTは無指向性及び高利得ビームでトライする。など最低限のゲートをクリアしてQSOに結び付けたいと思っています。

尚、完全坊主とならないように、サブの1200MHz帯では何とか21QSO/18マルチとしてコンテストに参加の印を残しました。

只、このバンドでは八木ビームのみで参戦。富士山ビームか副都心ビームで行けばチョロいものだろうなどタカをくくっていましたが、この甘い考えは見事に打ち砕かれ、やはり無指向との「併用がベター」との結果になりました。余程のFBな〇〇ビームが良いロケーションでなければビームのみでは太刀打できないと知りました。

(END)